

ISO14001

平成15年2月にISO14001の認証を取得し、環境目標を設定して活動しています。

環境目標実施状況 2024年度結果(2024年1月～2024年12月)

環境目標	実施内容	結果	今後の取組
安全操業の向上	社員教育を徹底し、安全パトロール・安全会議を行い、危険箇所の抽出・対策を行いました。また緊急事態(火災)を想定した訓練を行いました。	左記内容の実施 重大事故なし	引き続き社員教育を実施するとともに、危険箇所を抽出し事故防止対策を進めていきます。
廃棄物回収量の拡大	安心して廃棄物を委託していただけるよう、情報公開等により、お客様に当社の適正処理とリサイクル、発電をアピールしました。	新規契約目標達成率 245%	より多くの廃棄物を適正処理するために新規顧客の開拓に努めます。
電子マニフェスト (電子マニフェスト化率60.5%以上)	お客様に電子マニフェスト導入のメリットをアピールしました。	達成率 107%	引き続きお客様へのアピールを行い、電子マニフェスト化推進に努めます。
電力使用量の削減 (前年度比1%削減)	廃棄物発電リサイクルプラント(5号炉)を適切に維持管理し、発電電力の場内利用及び、余剰電力の売電を行いました。	達成率 119%	引き続き廃棄物発電リサイクルプラントの安定稼働に努めます。
熱回収施設による熱回収 (熱回収率10%以上)	5号発電設備について、ボイラダスト除去等適切に運用管理し、熱回収率10%以上を維持管理しました。	達成率 114%	引き続き施設の維持管理に努めます。
環境美化活動の実践 (毎回全5部署から参加)	まちかど100mクリーンアクションに参加し、地域美化活動を行いました。	達成率 100%	引き続き社員の環境美化意識の向上を図ります。

ひょうごバイオマスecoモデル登録(令和3年度)

兵庫県ではバイオマスの利活用を推進するため、バイオマス利活用の普及・拡大に向けて県民や事業者等の参画を牽引するような取組を「ひょうごバイオマスecoモデル」として登録し、それらの取組内容を積極的にPRすることにより、県下におけるバイオマス利活用の推進を図っています。

新日本開発の「高効率廃棄物発電及びセメント原料化」の取り組みが、令和3年度ひょうごバイオマスecoモデルに登録されました。



- ・畜産副産物や肥料・飼料に向かないため単純廃棄されてきたバイオマス系廃棄物を、廃プラスチック類等と前処理混合することで、安定的に燃焼
- ・高効率廃熱ボイラーで発電し、場内利用および売電
- ・燃え殻はセメント会社へ搬出しセメント原料化

事業継続力強化計画の認定(令和6年度)

令和6年11月、防災・減災の事前対策に関する計画を経済産業大臣により認定されました。

「廃棄物による環境負荷の低減と資源の循環を通じて、次の世代のためにより良い地球環境を残す」「常に努力と進化を続け、あらゆるステークホルダーから信頼される企業」といった企業ミッションに基づき、事業継続を脅かす重大な災害に遭遇した場合にも、適切に対処します。



- ・従業員及びその家族・事業運営にかかわる協力会社社員の人命安全確保
- ・工場の被災、ユーティリティの供給阻害、従業員の通勤阻害など、事業の中断や操業度の極端な低下が生じた場合、速やかに事業を再開し操業度を復旧させ、操業に必要な従業員を確保し、廃棄物の処理を行うことで顧客の事業活動を維持